



エコロジア北海道21推進協議会 平成27年度事業報告

1 環境産業・プロジェクト事業

(1) 北海道循環資源利用促進協議会との連携事業

実施主体等：北海道環境生活部、北海道経済部、エコロジア

目的：生活や事業活動に伴い排出される廃棄物等の未利用循環資源の有効な利用促進に係る課題やその事業化に向けた課題を協議し、循環型社会の実現に向けた具体的な取組を促進する。

① 北海道循環資源利用促進協議会総会・部会合同会議

[平成27年7月29日 ホテルオークラ札幌]

○ 総会

平成26年度事業実績、平成27年度事業計画(案)

○ 循環資源活用部会

・ 平成26年度事業実績

ホタテ貝殻の堆肥化による資源化WG

廃棄物(生ごみ等)の発酵分解によるセメント原・燃料化活用WG

使用済み「紙おむつ」の燃料化WG

・ 平成27年度の部会の進め方について

○ 事業化促進部会

・ 平成26年度事業実績

廃石こうボードの高効率リサイクル事業化WG

・ 平成27年度の部会の進め方について

② 北海道循環資源利用促進協議会幹事会

[平成27年 7月 3日 書面開催]

○ 協議会総会・部会合同会議について

○ ワーキンググループのテーマ募集について

③ 資源リサイクルセミナー2015の開催

〔平成27年11月 6日 アクセスサッポロ〕

<基調講演>

「環境政策による地域経済循環の拡大に向けて―水俣市の取組から―」

熊本県 水俣市 福祉環境部環境課 課長 松木 幸蔵 氏

<パネルディスカッション>

コーディネーター 北海道大学大学院工学研究院 准教授 石井 一英 氏

パネラー 熊本県 水俣市 福祉環境部環境課 課長 松木 幸蔵 氏

北海道 芽室町 企画財政課 課長 佐野 寿行 氏

④ 参画する部会の活動

○ 廃棄物（生ごみ等）の発酵分解によるセメント原・燃料化WG

生ごみの処理は負担となっている市町村が多く、一般廃棄物焼却施設について更新時期を控えている施設も多い。そこで、生ごみ等の有機性廃棄物をはじめとした廃棄物を発酵分解し、水分量や悪臭を減らしてハンドリングを高めたものについて、セメント等への原燃料化を見据えて、処理体系の構築を図ることを目的として各種調査を実施

○ 「廃石こうボードの高効率リサイクル事業化」に関する検討WG

産業廃棄物として処分されている廃石こうボード、紙類の再資源化を進めるため、廃石こうボードのリサイクル事業化の高効率化（品質安定化、製品の安全性）を確認するとともに、再資源化システム（粉体化方式、再結晶化方式）の比較選定を行うため試験プラント設置を目指し、WG活動成果より得られる各種データを「事業化」促進に活用

- ・ 事業報告〔平成27年 6月25日 東急REIホテル（エコロジア総会）〕
- ・ 幹事会〔平成27年 7月27日 北電総合設計株式会社 会議室〕
- ・ 幹事会〔平成27年 9月14日 北電総合設計株式会社 会議室〕
- ・ 幹事会〔平成27年12月 1日 北電総合設計株式会社 会議室〕

(2) 広域北海道有機素材循環利用ネットワーク協議会の取組推進事業

実施主体等：広域北海道有機素材循環利用ネットワーク協議会、エコロジア

目的：廃プラスチック類、有機性廃棄物等の燃料化など資源リサイクルを進める協議会の運営に協力し、循環型社会の実現に向けた取組を促進する。

- ・ 協議会〔平成27年 8月 6日 日鉄住金セメント株式会社 札幌事務所 会議室〕
- ・ 協議会〔平成28年 3月24日 日鉄住金セメント株式会社 札幌事務所 会議室〕
- ・ 幹事会〔平成27年 6月15日 日鉄住金セメント株式会社 札幌事務所 会議室〕

(3) リサイクル・環境関連施設の調査・会員交流事業

実施主体等：エコロジア

目的：環境関連施設や再生可能エネルギー施設などを調査し、先端技術に関する情報を収集する。

○ 環境・エネルギー視察会の実施

環境関連施設や再生可能エネルギー施設などを調査し、先端技術に関する情報を収集するため、次のとおり視察した。

<第1回>

実施日：平成27年 7月31日

視察先：北海道電力(株)泊発電所（泊村）

参加者：26名

主催：エコロジア、北海道経済連合会、北海道エネルギー基本問題懇談会（事務局：北海道経済連合会）及びエナジートーク21

<第2回>

実施日：平成27年11月10日

視察先：恵庭市下水終末処理場、生ごみ・し尿処理場（恵庭市）
えこりん村（恵庭市）

北海道電力(株)南早来変電所（安平町）

参加者：28名

主催：エコロジア、北海道エネルギー基本問題懇談会（事務局：北海道経済連合会）及び北海道エネルギー対策協議会（事務局：北海道商工会議所連合会）

○ エコロジア視察会の実施

先端技術に関する情報の収集・調査を行うため、次の施設を視察した。

実施日：平成28年 3月 8日～ 9日

視察先：(株)柳月新工場/スイートピア・ガーデン店（音更町）

大木牧場 バイオガスプラント（土幌町）

(株)ズコーシャ 乾式メタン発酵施設（帯広市）

(株)土谷特殊農機具製作所（帯広市）

参加者：20名

○ PCB処理施設等視察会

PCB（ポリ塩化ビフェニル）の処理技術などに関して、室蘭市の助成を受け、次の施設を視察した。

実施日：平成27年12月15日

視察先：中間貯蔵・環境安全事業(株)北海道PCB処理事業所（室蘭市）

北海道電力(株)伊達発電所、伊達ソーラー発電所（伊達市）

参加者：28名

(4) **グリーンビジネス調査研究助成事業**

実施主体等：エコロジア

目的：循環資源の有効利用を図るために、会員企業が行う資源化に関する調査研究等に対し助成する。

<実施事業>

名称：「廃石コウボードリサイクル事業化のための市場調査」事業

助成額：500,000円

助成率：基礎的な調査・研究、検証に係る事業 1/2

実施者：株式会社アールアンドイー

共同実施者：うえてつ株式会社、丸喜運輸株式会社、協業組合公清企業

(事業概要)

安全で高効率な廃石こうボードのリサイクル事業を行うため、当該事業の実現可能性を評価するため市場調査を実施。

(5) **調査研究活動事業**

実施主体等：エコロジア

目的：環境やリサイクルなどに関する諸問題について調査研究を行い、問題解決に向け検討を行う。

○ 「北海道リサイクル製品認定制度」に関する調査

道内のリサイクル産業の振興などを目的に策定されている「北海道リサイクル製品認定制度」について、より効果的、実効性のあるものとするため、本制度の認定を受けている事業者アンケート調査などを実施

<アンケート調査>

実施期間：平成27年6月

対象者：認定事業者

調査方法：アンケート調査票を対象者に郵送

○ 「北海道循環資源利用促進税」の見直しに対する対応

平成28年度に行われる「北海道循環資源利用促進税」制度の見直しに向け、税のより実効性のある活用を進めるため、意見交換会を開催し、意見を伺うとともに、北海道経済連合会と連携し、北海道循環資源利用促進税に関するアンケート調査などを実施

<意見交換会>

開催日：平成27年6月25日

場所：札幌東急REIホテル

<アンケート調査>

実施期間：平成27年8～9月

対象者：エコロジア会員、北海道経済連合会会員（製造業他）

調査方法：アンケート調査票を対象者にFAX又はメール

○ 「乾式メタン発酵研究会」の創設

先進技術である「乾式メタン発酵」技術の利点や道内における活用について検討を行い、本道における資源循環型社会の促進に資することを目的に「乾式メタン発酵研究会」を創設

会長：ホクレン農業総合研究所 顧問 松田 従三氏

メンバー：エコロジア会員 11名

オブザーバー：（地独）北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 企画調整部
企画課長 三津橋 浩行氏

<第1回>

開催日：平成27年12月 8日

場所：北海道経済連合会 会議室

内容：下記講演と意見交換を実施

- ・「乾式メタン発酵槽のいろいろ」

ホクレン農業総合研究所 顧問 松田 従三氏

- ・「乾式メタン発酵システム開発」

(株)ズコーシャ 総合科学研究所 廣永 行亮氏

2 各種支援事業

(1) 環境展への出展等

実施主体等：エコロジア

目的：会員の環境ビジネス及び当会のPRのため各種展示会へ出展する。

○ 「ビジネスEXPO 29h」への出展

[平成27年11月 5日～ 6日 アクセスサッポロ]

会員企業による環境ビジネス関連展示及びエコロジア並びに北海道循環資源利用促進協議会の紹介（資源リサイクルセミナーを同時開催）

<出展会員>

- ・ 株式会社アールアンドイー
透水・通気性舗装材と排熱を組み合わせた省エネルギー型融雪システム（ロードヒーティング）の紹介
- ・ エコ・シード北海道
緑化基盤材「バイテクソイル」による特殊緑化工法の紹介
- ・ 株式会社エコニクス
光ファイバを用いた海洋観測システムの紹介
- ・ 株式会社環境科学開発研究所
コンクリート劣化診断機器「BOLTハンマー」の紹介
- ・ 株式会社白石ゴム製作所
廃タイヤを利用したゴムチップマットの紹介
- ・ 株式会社苫小牧清掃社
廃プラスチック、木くずを活用したRPF（固形燃料）の紹介、鋼管のライニング補修技術の紹介
- ・ 北清企業株式会社
廃食用油を用いたBDF（バイオディーゼル燃料）の製造、廃プラスチックを活用したRPF（固形燃料）の紹介
- ・ 株式会社北海道エコシス
バックカーボン伝票の細断くずから生産した油吸着マットの紹介、新汚泥処理施設の紹介

(2) 勉強会

実施主体等：エコロジア

目的：環境分野の技術開発などについて意見交換会、勉強会などを行い、理解を深める。

○ 「自然由来汚染土砂に係る意見交換会」の開催

北海道新幹線札幌延伸トンネル掘削工事により発生する土壌汚染対策法の環境基準を上回る天然のヒ素や鉛など重金属を含む土砂の処理が課題となるといわれていることから、自然由来汚染土砂の処理方法やその課題などについて勉強を行うとともに、意見交換を実施

<第1回>

開催日：平成27年5月15日

場 所：北海道経済連合会 会議室

内 容：下記講演と意見交換を実施

- ・「建設工事に伴い発生する有害掘削ズリへの対応～自然由来有害物質に関する地質研究所の取り組み～」

(地独) 北海道立総合研究機構 地質研究所 地域地質部

地質情報グループ 主査 (資源情報) 野呂田 晋氏

<第2回>

開催日：平成27年10月28日

場 所：北海道経済連合会 会議室

内 容：下記講演と意見交換を実施

- ・「建設工事に伴い発生する自然由来汚染土砂処理の課題について」

国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所

寒地基礎技術研究グループ 防災地質チーム 研究員 田本 修一氏

3 情報啓発事業

(1) 環境技術・取組に関する情報発信事業

実施主体等：エコロジア

目的：環境ビジネスの取組や資源リサイクルに関する研究開発の現状などを会員に情報提供する。

① 講演会の開催 (総会記念講演会)

[平成27年6月25日 札幌東急REIホテル]

○ 演 題 「自然由来重金属類を含む岩盤掘削ずり対策の現状と課題」

○ 講 師 北海道大学大学院工学研究院 環境循環システム部門 地圏物質移動学研究室
教授 五十嵐 敏文 氏

② セミナーの開催

〔平成28年 2月25日 札幌東急REIホテル〕

※ 北海道経済連合会、北海道エネルギー基本問題懇談会と合同開催

- 講演① 演 題 「水素社会実現に向けた取り組みと展望」
講 師 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)
新エネルギー部 燃料電池・水素グループ
主任研究員 大平 英二氏
- 講演② 演 題 「本道の環境産業の成長に向けた今後のビジネストレンド」
講 師 株式会社日本総合研究所 総合研究部門
シニアマネージャー 前田 直之氏

(2) 広報等

実施主体等：エコロジア

目 的：会員への各種情報提供

- 会報の発行 1回
- メールによる情報発信 (エコロジア情報) 96回
- ホームページによる情報発信 更新6回

4 ネットワーク事業

(1) 総会、理事会、幹事会

実施主体等：エコロジア

- 総 会 〔平成27年 6月25日 札幌東急REIホテル〕
- 臨時総会
 - 第1回 〔平成27年 8月12日 書面開催〕
 - 第2回 〔平成27年12月28日 書面開催〕
- 理事会
 - 第1回 〔平成27年 6月12日 書面開催〕
 - 第2回 〔平成27年 7月 8日 書面開催〕
 - 第3回 〔平成27年12月 7日 書面開催〕
- 幹事会
 - 第1回 〔平成27年 5月15日 北海道経済連合会 会議室〕
 - 第2回 〔平成27年 8月 5日 北海道経済産業局 特別会議室〕
 - 第3回 〔平成27年 9月28日 北海道経済連合会 会議室〕
 - 第4回 〔平成28年 1月29日 北海道経済連合会 会議室〕
 - 第5回 〔平成28年 3月25日 TKPガーデンシティ札幌駅前〕

(2) その他ネットワーク関連活動

○ 会員拡大への取組

幹事の積極的な営業活動、展示会などでの当協議会の展示による啓発、リーフレット配布による会員拡大

平成27年度新規加入 法人会員：3社、個人会員：2名

○ 環境関連団体等とのネットワーク形成

環境関連の各団体が主催する検討会や普及啓発事業に参画し、活動への協力、情報交換などを行った。

環境団体等：北海道環境保全技術協会、北海道バイオ産業振興協会、北海道バイオマスネットワーク会議、北海道グリーン購入ネットワーク、北海道容器包装の簡素化を進める連絡会など